

大学院修士課程 美術教育

平成 30 年度 筆答試験

[英語]

次の英文を日本語に訳しなさい。(辞書使用可。ただし電子辞書は不可。)

1. (この部分につきましては著作権法上の問題から掲載することができません)  
(James Elkins, *Why art cannot be taught*, University of Illinois Press, 2001, p. 16, ll. 21-29)
  
2. (この部分につきましては著作権法上の問題から掲載することができません)  
(Glenn Adamson, *Thinking through Craft*, Berg, 2007, p. 83, ll. 22-26)
  
3. (この部分につきましては著作権法上の問題から掲載することができません)  
(Dennis Atkinson, *Art, Disobedience, and Ethics*, Palgrave, 2017, p.19, ll. 4-9)

# 大学院修士課程 美術教育

平成 30 年度 筆答試験

〔実技に関する小論文〕

今日の美術には様々なリアルと感じさせる表現がある。リアルな表現を生み出すにはどのような要素が必要か、自己の制作に即して論じなさい。

(指定 400 字詰原稿用紙 3 枚以内)

大学院修士課程 美術教育

平成 30 年度 筆答試験

[理論に関する小論文]

作品を制作することは、制作者自身をどのように変容させるのか、自己の制作に即して論じなさい。

(指定 400 字詰原稿用紙 3 枚以内)

大学院修士課程 美術教育  
平成30年度 実技試験

出題

各自で課題を設定し、  
各自の描画材料でデッサンしなさい。

※画面は縦、横どちらでも構いません。